

令和7年11月28日  
都市美対策審議会景観審査部会  
港湾局

# 水際線まちづくりにおける 臨港パークの整備計画（審議）

## 目次

1. 事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)
2. 臨港パークの特徴
3. 改修箇所
4. 改修方針

### 【付議理由】

本事業は、水際線全体のまちづくりを進める一環として『臨港パーク』の整備を行うものです。

コンセプトプランに基づき『臨港パーク』を再整備するため、整備の方向性について都市美対策審議会にご意見を伺います。

### 【審議事項】

コンセプトプランに基づき、「臨港パーク」の整備・改修の方向性をとりまとめました。今後、横浜市都市景観アドバイザーからご意見をいただくとともに、みなとみらい21公共施設デザイン調整会議で審議していきます。

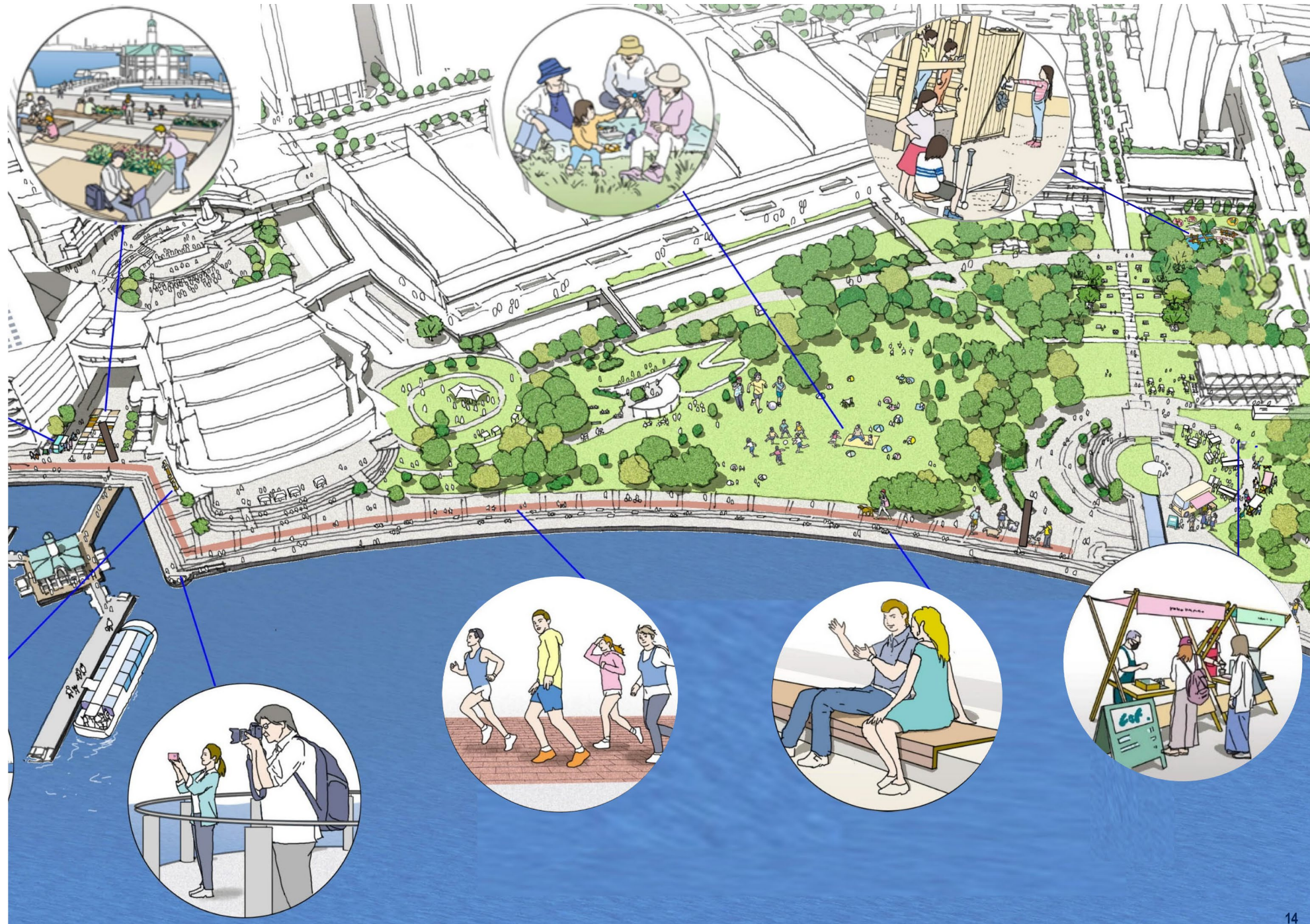
# 1. 事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)

臨港パークから山下公園までの約5kmの水際線について、居心地が良く歩きたくなる歩行者空間の創出や、道路・公園等の公共空間を活用したにぎわいづくりなどを一体的に行い、都心臨海部の魅力を高めるまちづくりを進めます。

『臨港パーク』は、水際線の5つのエリアの1つに位置付けられています。



# 1. 事業概要(水際線まちづくりコンセプトプラン)



臨港パーク内エリアについて、水際線随一の広さを誇る開放感あふれる緑豊かな場所です。ピクニックやジョギング、犬の散歩など、子どもからシニアまで、多くの市民に親しまれています。

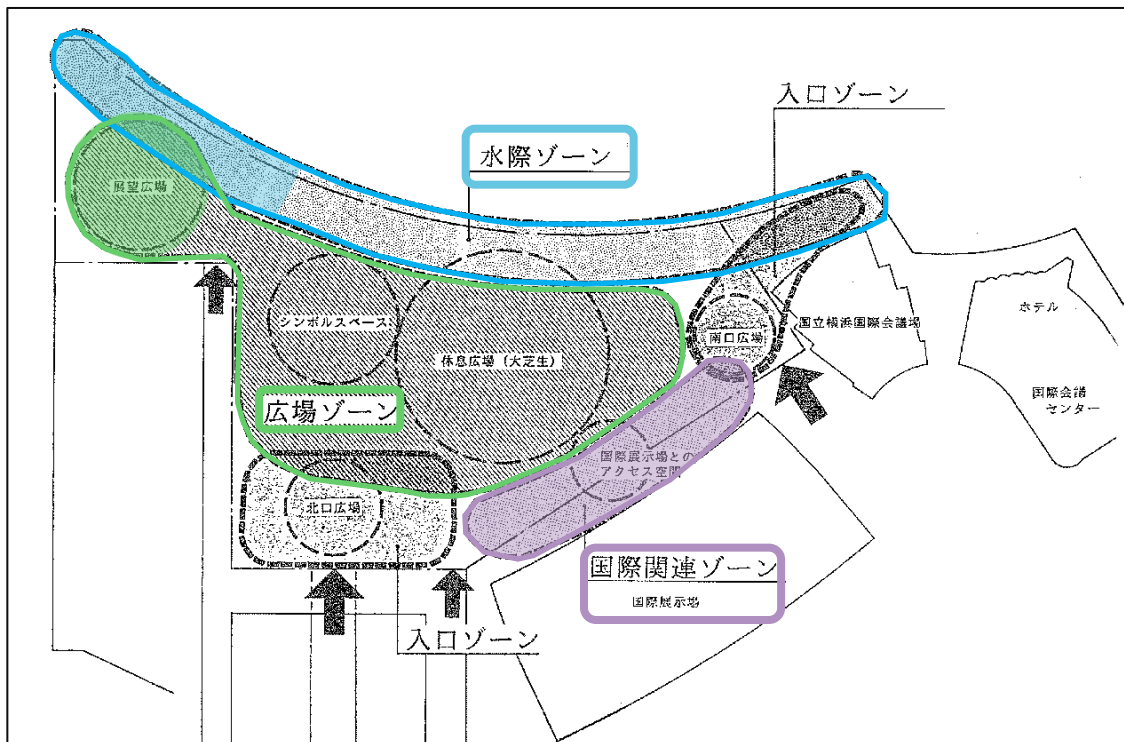
訪れる人々が思い思いのスタイルで楽しめる緑地として、居心地の良さを高めていくとともに、エリア内にある横浜ティンバーワークスやふかりさん橋などの滞在施設、広々とした芝生広場、美しい海辺の眺望を活かした大規模フェス、花火大会やナイトマーケットといった多彩なイベントなどにより、市民をはじめ、観光客や隣接するMICE施設に訪れた人も惹きつける場所としての価値も高めていきます。日常の憩いと特別な体験が共存するエリアへと進化させていきます。



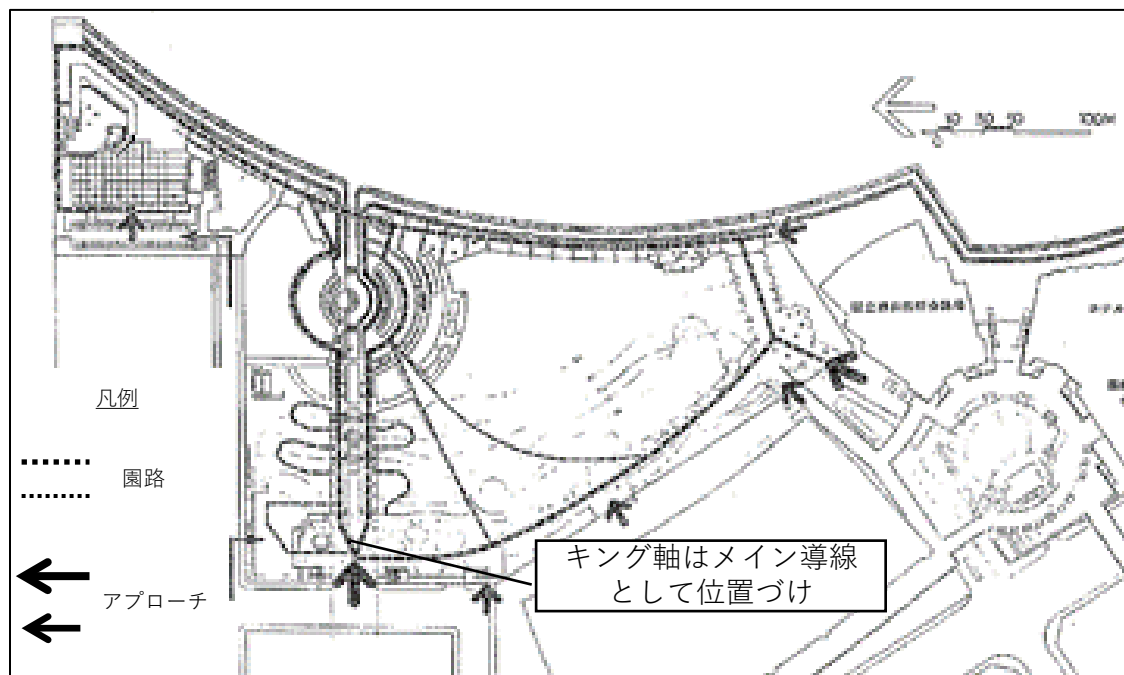
# 2. 臨港パークとは(上位計画)

## ③MM21臨港パーク(仮称)基本計画策定(昭和58年～平成元年)

### ゾーニング



### 動線システム

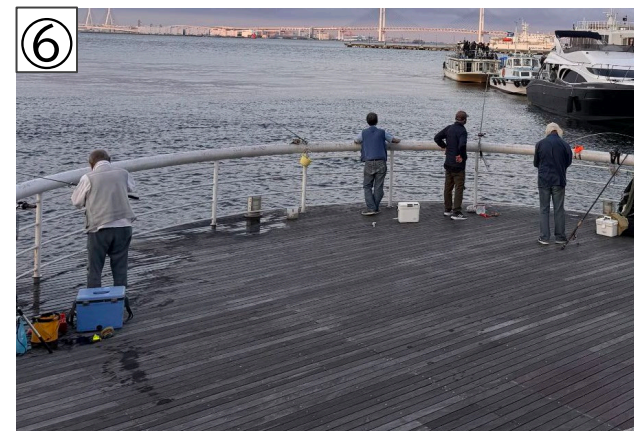
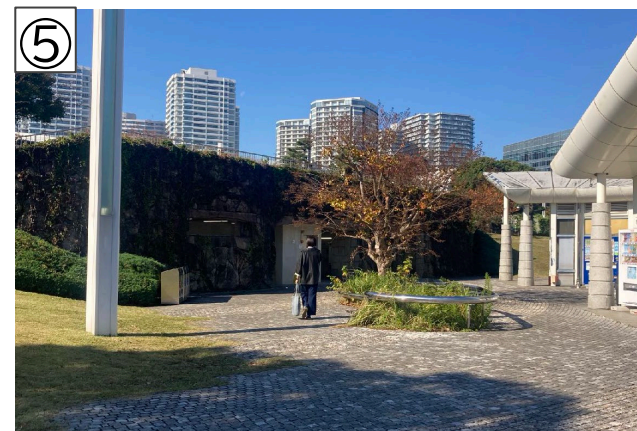
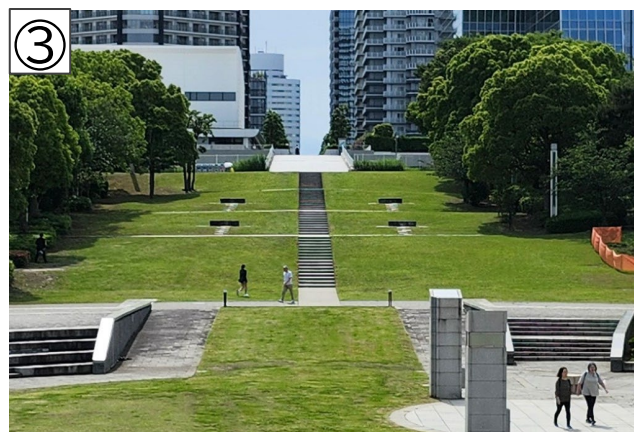


ゾーン	基本的な性格	主要機能
水際ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内側に湾曲した水際線が新しい景観資源となり、海や港との係わりの中で様々な活動が期待されるゾーン。</li> <li>・直接海に接するゾーンとして親水性の高い空間や施設を整備する。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 親水性の高い護岸を整備しつつ湾曲景をいかした景観づくり</li> <li>2. 海上イベント開催時の客席機能</li> <li>3. 水際線における利用者の危険防止</li> </ol>
広場ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の休息、散策やイベント時の利用など多様な利用形態に対応するための広場を整備するゾーン</li> </ul>	<p>(展望広場)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 突堤部の資質を活かした眺望施設の整備</li> <li>2. 利用者の誘引 (シンボルスペース)</li> </ol> <p>(休息広場)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 港と都市の融合を象徴</li> <li>1. 多様なレクリ活動への柔軟な対応</li> <li>2. 防災避難活動への支援空間</li> <li>3. 高密度な都市空間における開放的な空間性の確保</li> </ol>
国際関連ゾーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑地利用者及びコンベンション施設利用者共通の休息空間を整備すると共に、大規模建築に対するスケールギャップを緩和するゾーン</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 緑地空間と建築空間との調和ある連結</li> <li>2. 植栽空間の骨格の形成</li> <li>3. 休息及びコンベンション機能のにじみ出しへの対応</li> </ol>

## 2. 臨港パークとは(現況)



# 3. 改修箇所



# 4. 改修方針(キング軸接続部)

## ■ キング軸周辺整備について

### -- 整備方針・内容 --

#### キング軸接続部

→ みなとへ開く大きなスケール感  
美しい芝生斜面を生かし、芝地はなるべく減らさない

#### ・ビスタの強調

→ 眺望を阻害する下部の樹木伐採。上部は緑の樹木を残す

#### ・いごちの良い滞留空間創出

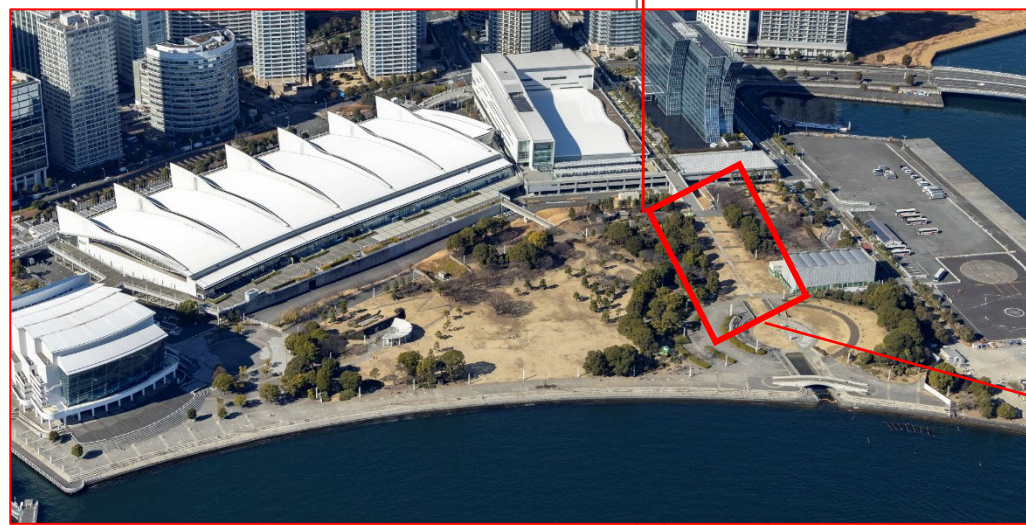
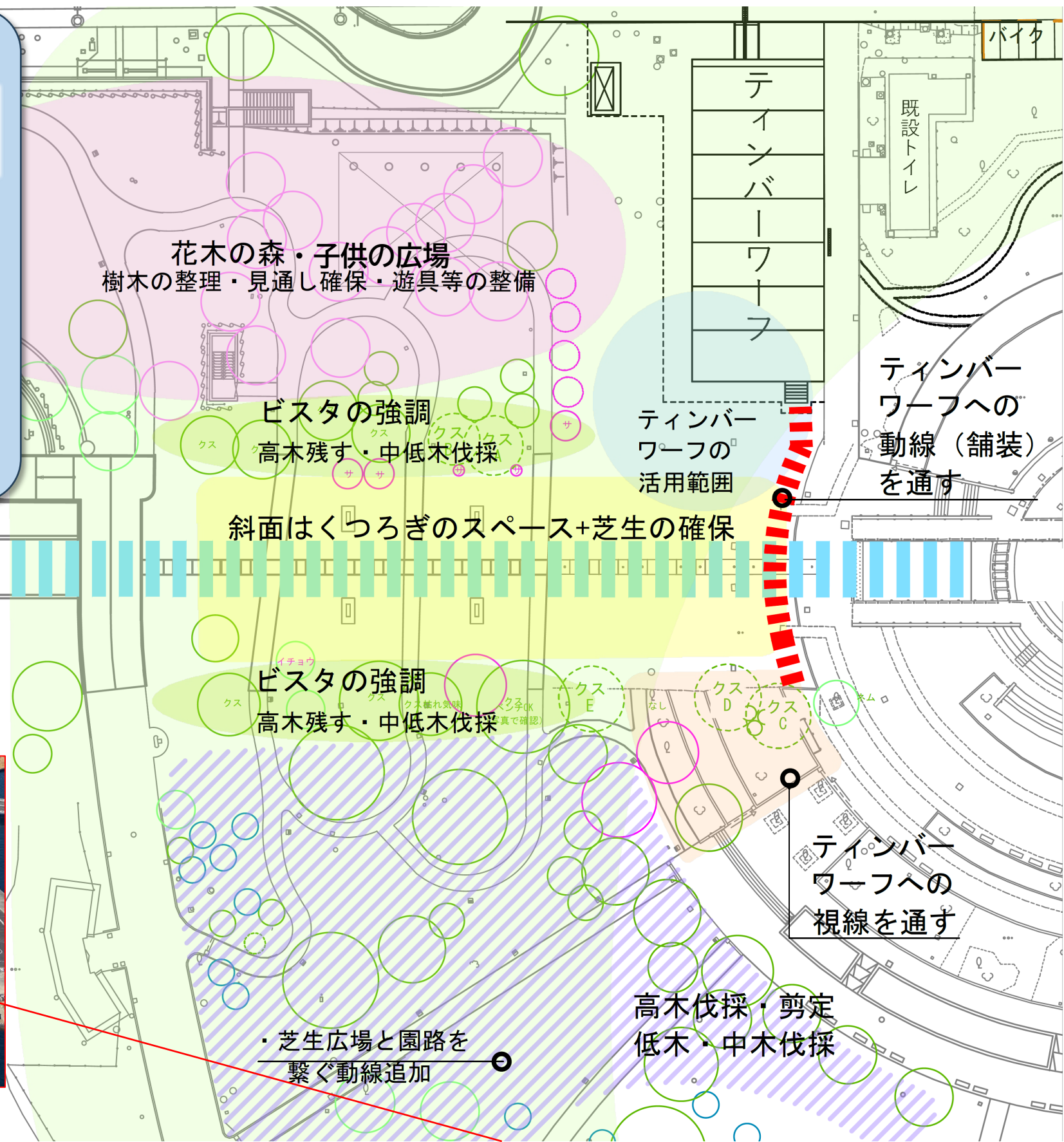
→ 木陰ベンチの整備

#### ・芝生広場からキング軸への誘導

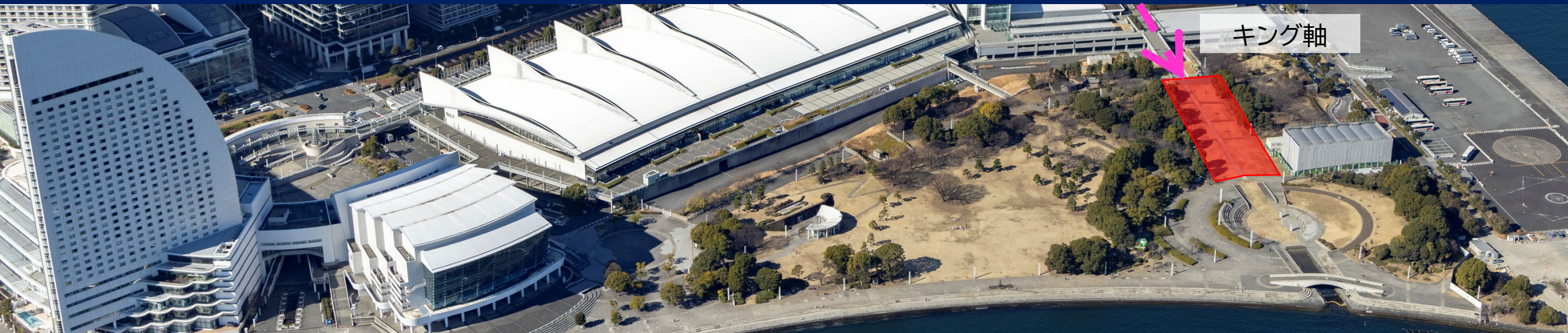
→ 樹木の繁茂による分断感をなくし、視界と動線を確保

## キング軸

キングモール橋



# 4. 改修方針(キング軸接続部)



## ■ キング軸接続部改修

### 現況

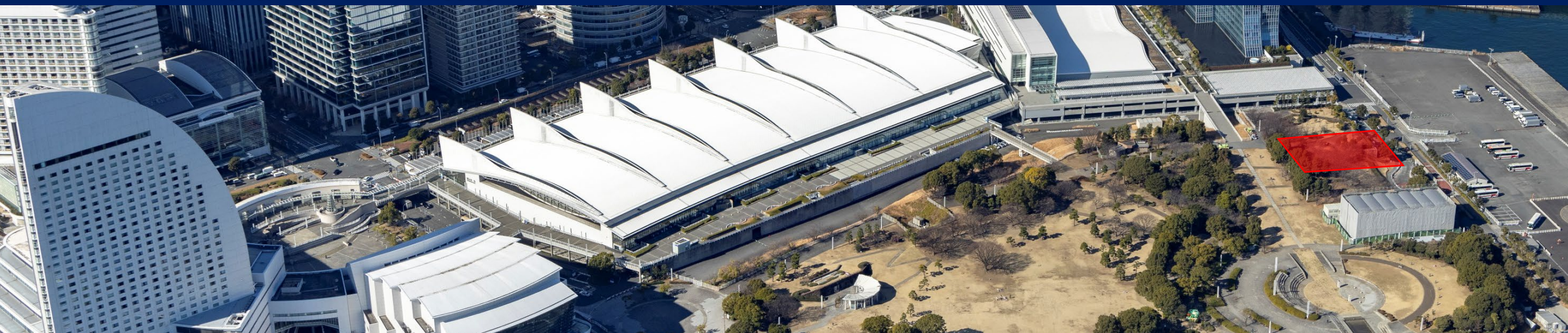
- キング軸との接続部として動線の幅員が狭く、玄関口としての設えが弱い
- 供用から年数が経過しており、成長した樹木が眺望を阻害している
- 芝生斜面の滞留空間が少ない

### 整備の方向性

- 水際線に誘う動線の確保 階段幅員を拡幅し、軸線として強調する
- 眺望の確保 海へのビスタを通すため、既存景観を生かしつつ、高木は剪定、中低木の撤去等を実施する
- 滞留空間の創出 海を眺めるゆったりしたベンチを設置する  
暑熱対策として木陰を創出し、ベンチを設置する



# 4. 改修方針(遊具の整備)



## ■ 遊具の整備

### 現況

- ・ 親子連れの来訪を促す魅力的なコンテンツや体験の不足
- ・ 親子連れが長く滞在できる空間となっていない
- ・ 臨港パークの北西側は、パークの端であることや、周囲が樹木等で囲まれていること等により他エリアとの分断感がある

### 整備の方向性

- 子供から大人まで憩える空間の創出  
遊具やベンチを整備することで、親子連れで楽しめる空間を創出する
- 誰もが楽しめる空間の創出  
緑地内に多様なエリアを整備することで、幅広い世代が多様な過ごし方ができる緑地とする
- 緑地内の回遊性向上  
芝生広場を中心に、周囲のエリアを整備することで、緑地内の回遊性の向上を図る



# 4. 改修方針(プロムナード舗装)



## ■ 舗装改修

### 現況

- ・ 単調な空間が続き、間延びした移動空間となっている
- ・ 歩行者やランナーと滞留している人が混在している
- ・ 女神橋から臨港パークへの誘導が弱い

### 整備の方向性

- 回遊性の向上 水際線を引き立て、歩きたくなる舗装を整備する  
女神橋まで連続させ、臨港パークの存在を顕在化させる
- 滞留空間の創出 既存の段差を活用して憩えるベンチを設置し、ゆったりと海を眺められる空間を創出する



【舗装材のコンセプト】 既存の舗装との調和を図り、維持管理性や経済性等を含めて検討する

# 4. 改修方針(ビュースポット・ロングベンチ)



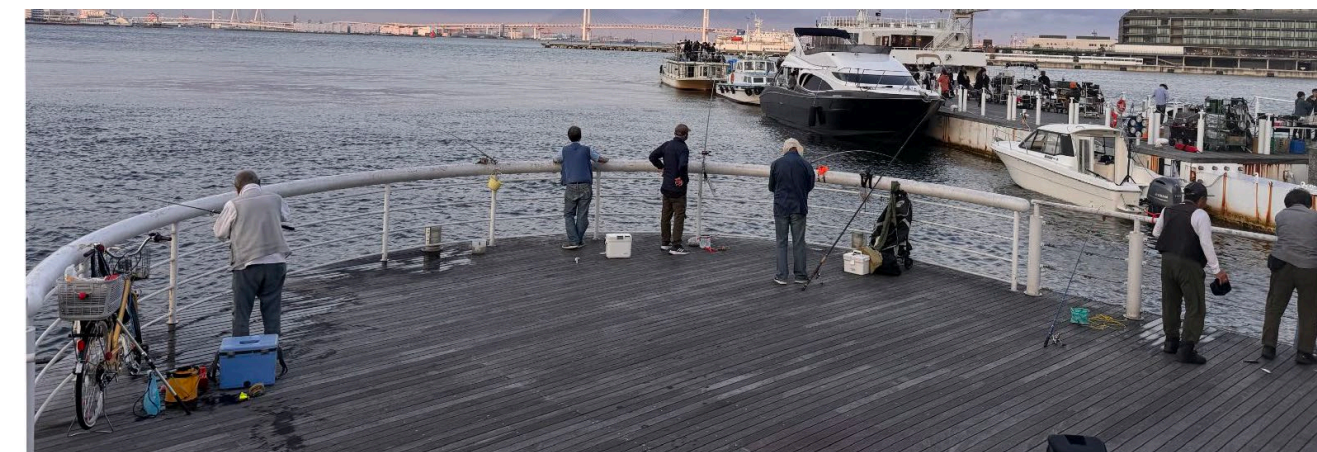
## ■ ビュースポット・ロングベンチの設置

現況

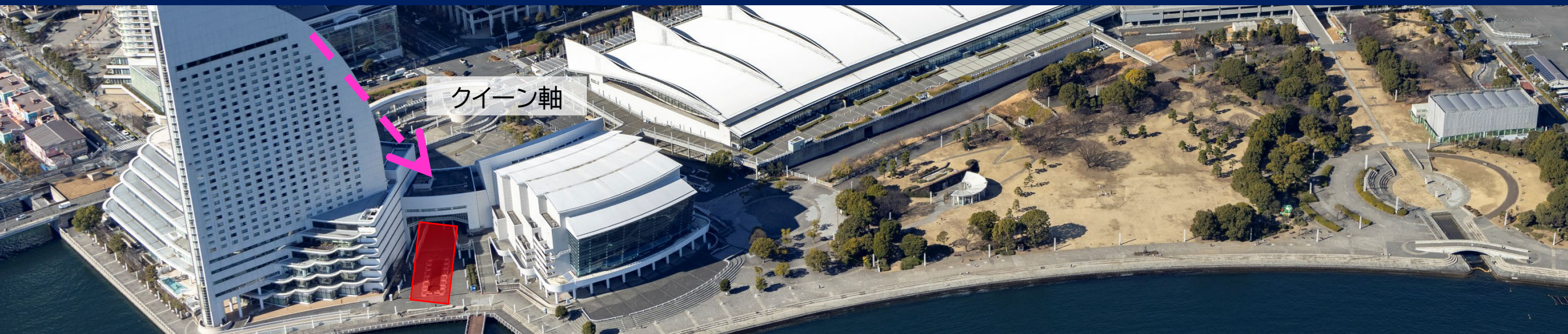
- ・ 女神橋方面からの来訪者には、国立大ホールの先にある臨港パークが視認しづらい
- ・ 行き止まりの印象を与えている

整備の方向性

- エリアのつながりの強化 視点場を整備することで、その先へ人々を誘うための仕掛けづくりをする
- 滞留空間の創出 既存スロープを生かしたロングベンチを設置し、ゆったりと海を眺められる空間を創出する



# 4. 改修方針(カスケード)



## ■ カスケードの改修

### 現況

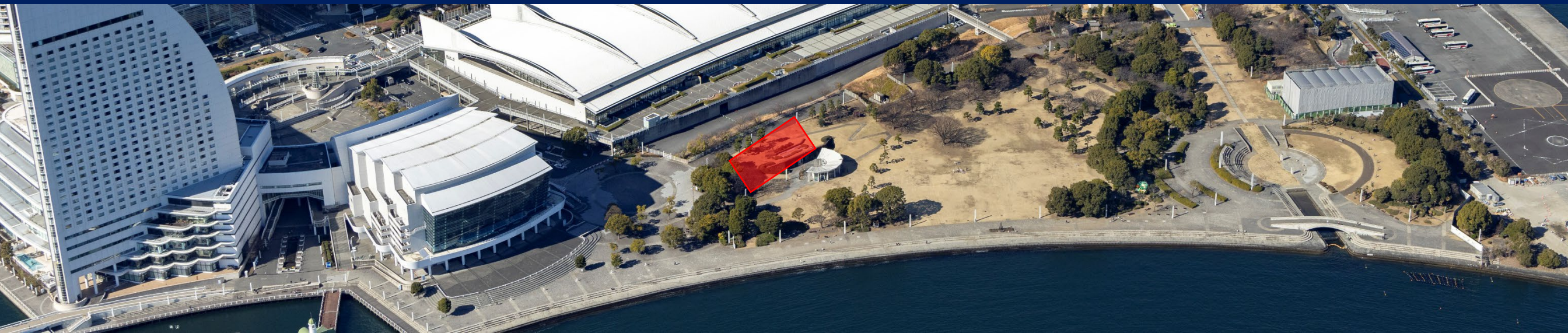
- ・ クイーン軸と水際線を結ぶ位置にあたるが、臨港パークの玄関口としては寂しい雰囲気となっている
- ・ ベイブリッジやふかりさん橋が見える場所であるが、ゆったりと眺められる滞在空間となっていない

### 整備の方向性

- 景観の向上  
ベンチや植栽を整備することで、カスケード周辺の景観を向上させ、明るく開放的な空間を整備する
- 滞留空間の創出  
既存の傾斜を活用し、多様な高さで居場所を創出することで居心地の良い空間を創出する



# 4. 改修方針(南口トイレ外構)



## ■ 南口トイレ外構の改修

現況

- ・ トイレ壁面に蔦が生い茂り、暗い印象となっている

整備の方向性

### ● 安全安心な環境

蔦を撤去し、元の石積みファザードを復活させるとともに低木の撤去、木陰ベンチの設置など、開放的な空間を創出し誰もが安心して利用できるトイレを整備する

